

決算・補正予算について の審議

予算決算委員会での審議後、本会議において、討論のあと、賛成多数で可決しました。

本会議

9月29日

一般会計歳入歳出決算認定

反対（河邊正男議員） 設楽ダム・ごみ処理広域計画・学校再編・悪臭問題の事業内容について反対する。
賛成（長神隆士議員） 健全な財政運営が行われており賛成する。

国保特別会計歳入歳出決算認定

反対（河邊正男議員） 国保の被保険者負担は重く、市は法定外繰入により国保税の軽減を図るべきで反対する。
賛成（長神隆士議員） 被保険者に適切な給付を行っている。安定運営のための適切な決算であり賛成する。

介護保険特別会計歳入歳出決算認定

反対（河邊正男議員） 保険料・利用料の負担が重い。今期1億5千万弱の基金積立があるにも関わらず保険料単独減免はなく、反対する。

賛成（長神隆士議員） 適切な給付のほか、地域包括支援センターによる高齢者支援等も積極的に行われており賛成する。

予算決算委員会

9月14日～17日
付託議案
8件

一般会計歳入歳出決算認定

問 物品売買取入（1300万円）の内訳は。
答 公用車の売り払い2件（約130万円）、公共財産オークション11件（約442万円）、金属資材売却（約739万円）。

問 昨年からはじめた「生活ささえあいネット」の取り組み状況は。
答 先行地区として2地区（野田、清田・福江）で実施。3月末で支援依頼者の登録が39人、サポーターが59人。今後、市全体に広げる。

問 減少する地区老人クラブへの支援の考えは。
答 前年度より、クラブ数は7、会員数は612名減っている。クラブ連合会と補助金のあり方について調整していく。

問 渥美病院の救急医療運営への補助率は。
答 8千万円のうち、6千万円を補助している。（年間）

問 副反応が心配される子宮頸がん予防接種は継続していくのか。
答 積極的に勧奨はしていないが、希望者には医療機関で十分な説明と情報提供を行い、引き続き実施する。

問 改装した蔵王山展望台の入場者数の推移と課題は。
答 入場者は順調に増えている。展示の更新など、新たな魅力づけで入場者数を維持する必要がある。

問 渥美半島観光ビューローの今後。
答 は。

問 今年の理事会で中・長期的な方向性を踏まえながら、今後の体制等について検討していく。
答 広域幹線道路について、その必要性を市民に知ってもらうことも必要では。

問 国・県へは、臨海企業・商工会等も一緒に要望しているほか、市民
答 国・県へは、臨海企業・商工会等

向けの啓発も実施する必要があると認識している。
問 H26年度に購入した自動心臓マッサージ器の使用実績は。
答 2月購入のため、実績は消防署渥美分署1件、赤羽根分署0件。渥美分署にはもともと1台あり、全体では16件の使用があった。（H26）

問 新給食センターの評価は。
答 供用から一年半たち、当初は不具合もあったが順次改善。試食見学会や子ども達から、美味しいという声をいただいている。

問 国保特別会計歳入歳出決算認定
答 給付額が減少した理由は。
問 H20年度から実施している特定健診が浸透したと思っっている。
答 は。

問 H26年度の認知症施策の取組みは。
答 「認知症ケアパス（認知症の人の状態に応じた適切なサービス提供の流れ）」の作成、徘徊高齢者の見守り「SOSネットワーク」を立ち上げた。